

5 事故・事件の防止措置と緊急時の対応

災害時に地域住民の自発的な支援が行われ、本県らしい、人と人との絆を基調とした支え合いの素晴らしさである「災害時支え愛活動」を念頭に置き、当館でも安全性の向上や事故防止のため、日常的・定期的な点検、適切な予防保全を実施し事故の未然防止に取り組んでいきます。

(1) 火災・盗難・災害・事故などの防止(防災)対策

火災・盗難・災害・事故などの防止のため、お客さまや地域住民とのコミュニケーションをはかり、「聞く」・「見る」・「話す」という基本的な行動を誠実に実行し防犯・防災における予兆、情報を見逃さないようにします。

また、職員の対応と休館日および夜間の警備委託による24時間体制で事故・事件発生の防止に努め、万全な事故防止対策の徹底をはかります。

○鳥取県立倉吉体育文化会館で考えられるリスクアセスメントの例 (5分類)		
分類	考えられるリスク	事前に行う対処
事故やトラブル	火災・爆発など	●火気・危険物の持ち込み確認と確実な資器材取り扱いの徹底
	機械設備の故障	●職員による日常点検・委託業者による定期点検の実施
	停電・断水・漏水	●各種マニュアル整備による事前対策と早期復旧
	盗難・危険個所	●巡回の徹底による情報収集と不審者(物)の早期発見 ●危険個所の確認と対策
	労働災害 苦情	●職員研修による教育の徹底と各種マニュアルの整備
サービス	情報の漏えい	●守秘義務・個人情報保護規定の遵守と運用体制の確認
	事務処理のミス	●職員研修による教育の徹底と各種マニュアルの整備
政治・経済	物価・金利の変動	●取り引き業者の選考
	ニーズの変化による収入減	●広報活動と事業の内容を検討 ●ニーズに合った収支の調整
	暴動・テロリズムなど	●危険箇所のリストアップ ●巡回の徹底による不審者・不審物などの早期発見
社会情勢	感染症によるパンデミック	●国・県の新型インフルエンザ等対策行動計画などに基づく対応 ●対応マニュアルの作成
	物品の価格高騰	●大量一括購入などによるスケールメリットを活かしたコスト削減
	風評被害	●情報の迅速で適切な公開 ●お客さまなどへの直接説明

分類	考えられるリスク	事前に行う対応
自然災害	異常気象 地震・大雪・大雨・落雷など	<ul style="list-style-type: none"> ●館内の環境維持のための対策を計画 ●被害への回避策・軽減策の実施による対応 ●施設長を対策班長とした指揮命令系統の編成と定期的な訓練による実践的な対応の強化

① 火災・防災等防止対策

火災・防災等防止対策としては、館長を危機管理責任者とし、本会や他の管理施設と連携した即応体制をつくり、倉吉警察署や倉吉消防署、医療機関などと綿密な連絡体制をとることにより、迅速な対応ができるようにします。

また、平時から職員が緊急時に即応できるよう応急処置や避難誘導訓練を行い、安全・安心な施設として管理運営します。



避難誘導訓練
年2回実施



屋内消火栓を使用した
放水訓練年2回実施



消火器を使用した消火訓練



通報訓練年2回実施



職員による応急手当訓練年2回
実施



応急手当推進事業所認定を
受けています



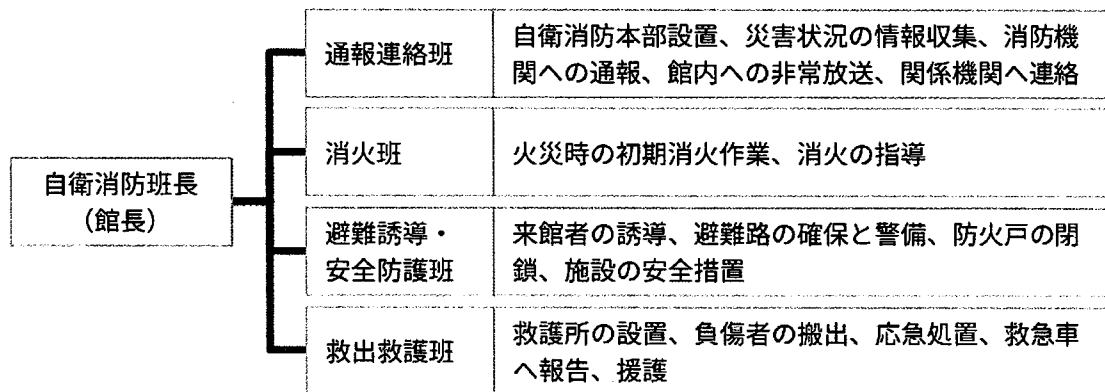
ア 火災の防止策

火災の防止策としては、館長を隊長とした自衛消防隊を組織し、災害時に備えた班編成を組み、役割を明確にしておきます。また、消防計画にもとづいた防災活動を行うとともに、危機管理マニュアルにもとづいた消防訓練（避難誘導訓練、初期消火訓練）を年 2 回実施します。

●火災を防ぐ

- 1 火元周辺・建物周辺に可燃物を置かない。
- 2 燃料・薬品は定められた使用方法と安全な保管をする。
- 3 消防訓練を実施し、火災発生時の対応行動を把握する。
- 4 消防設備の定期点検を実施する。
- 5 消火器、消火栓、火災報知機の操作方法を習得する。
- 6 火元責任者による責任区域の安全確認を行う。
- 7 防火対象物点検報告特例認定証を取得する。

●自衛消防隊の組織図イメージ



イ 地震発生時への対策

地震への対策としては、地震対応マニュアルをし、J-アラート（緊急地震速報）を活用した避難訓練を行い、被害を最小限に食い止め、津波の発生にも対応できるよう訓練します。

鳥取県震災対策アクションプラン（平成 22 年 12 月）により、震災の経験を活かし迅速な対応をします。

●地震に備える

- 1 落下、転倒などの危険箇所の対策を実施する。
- 2 火気使用場所の整理整頓に努める。
- 3 消防設備、シャッター等の定期点検を実施する。
- 4 崩落、落下の恐れがある箇所は早期に修繕する。
- 5 非常用品の点検、補充をする。

ウ シェイクアウト訓練

大地震が発生したと想定し、各自が3段階の「安全確保行動」を行います。「Drop（まず低く、しゃがむ）」「Cover（頭を守る、かくれる）」「Hold On（動かない、待つ）」。

お客様の安全確保を第一に、職員が対応できるようにします。

エ 津波発生時への対策

津波発生時の対策としては、鳥取県津波対策検討委員会が公開した津波の浸水予測図に基づき、お客様の安全を第一に考え、迅速に避難誘導できるようにします。

●津波に備える

- 1 テレビ、ラジオ、インターネット等で気象情報を掌握し、起り得る事態に対応策を練る。
- 2 より遠くへ、より高い場所へ避難する。
- 3 要援護者の手助けをする。
- 4 お客様に呼びかけをし、避難する。
- 5 施設利用制限、事業の中止を判断し、周知する。
- 6 ハザードマップ活用し、危険の増幅が予測される場合は、事前に措置をする。

オ 台風・大雨洪水・大雪時への対策

台風・大雨洪水・大雪時への対策としては、予報に基づき植栽、工作物等の養生や補強、



巡回などを行い、また人手を要する場合は、職員の出勤予定を変更するなどの事前準備を行います。

●台風・大雨洪水・豪雪に備える

- 1 テレビ、ラジオ、インターネット等で気象情報を掌握して起こり得る事態に対応策を練るとともに、利用者にテレビモニター等で随時情報を提供する。
- 2 飛ばされやすい物や倒れやすい物を撤去、移動する。
- 3 植栽、工作物などの養生や補強をしておく。
- 4 お客さまに呼びかけをし、被災を回避する。
- 5 施設利用制限、事業の中止を判断し、周知する。
- 6 日ごろの巡回によりハザードマップを作成し、風雨により危険の増幅が予測される場合は、事前に措置をする。

カ 弾道ミサイル発射時への対策

弾道ミサイル発射時への対策として、近隣国からミサイルによる攻撃があった場合、J-ALERT や緊急放送などにより情報を得て、お客さまをすみやかに屋内へ避難させ、窓がない場所または窓から離れた場所へ移動させます。その後、行政機関からの指示に従い対応します。

キ 緊急時に備えた資材調達

緊急時には、医薬品、AED など“緊急資材”のほかにも災害を想定した各種資材の用意が必要になります。その他“避難誘導資材”“災害対策資材”などが必要であり、常備をしないまでも、必要な資材をすぐに調達できるように、緊急調達先として市内事業者をリスト作成します。

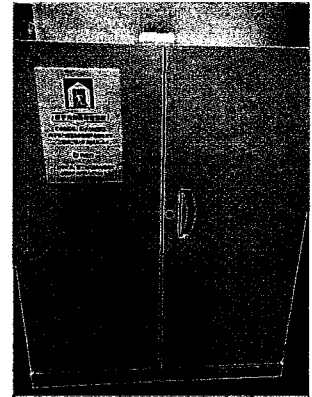
●常備しておくべき緊急時に必要な資材

避難誘導資材	懐中電灯、拡声器、携帯電話、ヘルメット、ホイッスルなど
緊急資材	救急箱、担架、AED、毛布、タオル、氷など
災害対策資材	スコップ、ロープ、荷車、非常用ラジオ、ブルーシート、カップなど
資材入手先	そのほかに必要な資材を迅速に入手できる先（市内事業者）をリスト化

ク 原子力災害事故への対策

原子力災害事故への対策としては、島根原子力発電所において事故が発生した場合、お客さまの安全を守るため、鳥取県広域住民避難計画と危機管理マニュアルにそって対応し、その訓練を行います。

また、避難場所に指定された場合、すみやかに対応できるよう行政などと連携をとっていきます。



原子力災害時避難所に指定されています

ケ 有事の際の職員招集

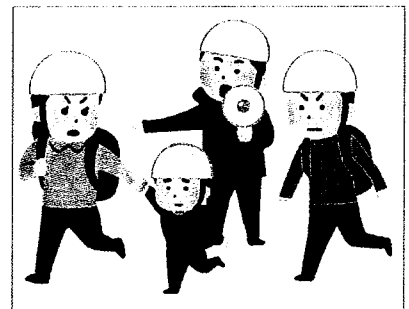
当館で有事が起きた際、職員を招集し対応支援を行います。緊急時に迅速に当館に参集し対応します。

コ 非番時の緊急対応(マニュアルの電子化)

非番時の緊急対応策として、危機管理マニュアルの電子化を行います。どこにいても自分のスマートフォンやタブレットなどでマニュアルの確認ができるようにし、非番時に起きた緊急事態でも関係機関への連絡や初動が確実におこなえるようにします。

サ 地域と共に備える災害時対策の実施

地域の方々が安心して暮らせるよう、おもに災害時の情報の共有と連絡体制の確立や避難訓練と避難場所の確認、コミュニケーション訓練と協力体制の構築を目的とし近隣自治会も参加する訓練を実施します。



② スポーツ活動における事故防止策

すべてのお客さまが、倉吉体育文化会館を安全に、そして安心して施設をご利用いただくために、施設・設備の点検はもちろん、健康面への配慮や熱中症、活動中の事故などの未然防止策を整えます。



ア 安全管理

いつやって来るかわからない災害を未然に防ぐには、不安全な状態や行いに気づき、ヒヤリ・ハットの段階で地道に対策を考え、実行していくことが重要です。

日常巡回に加え、「情報共有シート」を活用し、職員間のヒヤリハットの正確な共有や利用者からのご意見のスピーディーな収集に努めます。

●運動に関する指針（熱中症予防のための運動指針より）

対 策	内 容
スポーツ活動における事故防止対策	スポーツ活動に欠かせない器具は、常に安全で適正な状態に管理されていなければなりません。毎日『チェックシート』に基づく器具点検を実施し、異常の早期発見に努めます。
熱中症予防のよびかけ	日本スポーツ協会の『熱中症予防の運動指針』にそって、WBGT計での測定結果をお知らせします。指針は、パネル化して各道場の入口に掲示し、WBGTが28℃以上になっている場合は、活動の代表者などに安全性について注意喚起します。
健康チェックの奨励	エントランスに全自動血圧計を設置し、運動前の健康チェックに役立ててもらいます。日頃からご自身の健康管理について興味をもっていただけるように働きかけ、日々の運動効果を実感してもらえるように体脂肪計も設置します。
ウォーミングアップやクーリングダウンの指導	希望者、希望団体に対し、スタッフによるウォーミングアップ指導などの安全教育を行います。 (事前の申し出と打合せが必要です)

これでもまだ
冰山の一角

1 重傷者
29 軽傷者
300 無傷災害
不安全行動・不安全状態

イ 心臓疾患・脳疾患・血管障害などへの対策

研修や講習会・スポーツ活動中に、お客さまに心臓疾患などの緊急事態が発生した場合には、119番通報をふくめた迅速な対応が取れるようにします。

③ 不審者などの防止策

倉吉体育文化会館は、たくさんの県民のみなさまにご利用いただくことのできる公共の

施設です。近年、海外などでは多数の人があつまる公共の場所においてテロ事件が多発しています。わたしたちは、万が一の場合に備えてこのような場合に対応できるよう訓練を行います。

ア 不審者・不審物への対策

不審者・不審物への対策としては、防犯体制を強化するために所轄警察署、交番などと連携し、防犯訓練の実施や地域の防犯情報の提供について協力を行います。また、お客さまに対する情報提供、注意喚起を積極的に行います。さらに、不審物・テロ対策として透明回収ボックスの導入を新たに検討します。

●不審者・不審物への備え、回避策

- 1 館内外を適時巡回し、不審物、不審者の有無を確認する。
- 2 事件、不審者情報などを入手し、周知する。
- 3 お客さまに積極的に声をかけ、日頃からコミュニケーションを取る。
- 4 周辺に不審者らしき情報がある場合は警察に知らせる。
- 5 更衣室やロッカーの中などをよく確認する。
- 6 年1回不審者に対する防犯訓練や講習会を実施する。
- 7 施設内を定期的に巡回し、不審者・不審物を発見したら警察への通報等必要な措置をとる。

イ 盗難の未然防止

盗難を未然に防ぐため、盗難事例や事故事例のあるところ、または、予測される場所に注意喚起のための貼り紙の掲示、大会などで多数のお客さまが来館される時には巡回回数(通常時2回)を増やすなどして盗難が起こりにくい状況をつくります。

●盗難防止策の一例

- 1 大会などのイベントの巡回回数の増加
- 2 更衣室ロッカーキー貸し出しの推進
- 3 当館職員と警備委託による24時間体制での事件発生防止
- 4 防犯カメラの設置
- 5 盗難防止の貼り紙やポスターなどでの啓発



防犯用ウェブカメラの導入

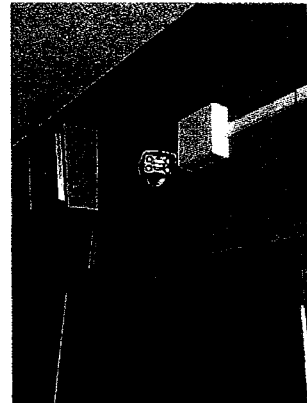
防犯用のウェブカメラを導入し（館内 5 箇所）、常時職員の巡回とあわせた盗難、事故防止につなげます。



館内 5 箇所に録画機能付きウェブカメラの監視モニター



ウェブカメラ（体育館）



ウェブカメラ（クライミング入口）

④ AED(自動体外式除細動器)の管理

館内各所でおこった事故を想定し、お客さまでもわかりやすいよう AED はエントランスの目立つ場所に設置し、AED 設置場所の案内を館内に掲示します。また、毎日 1 回の点検（バッテリーなど）を確実にいき、いつでもだれでも使うことが可能な状態にします。

●その他の実行策

- 1 緊急時には、館内において1分以内にAEDを届けられるようにします。
- 2 日本救急医療財団AEDマップに設置情報を掲載し、救命率の向上を目指します。

感染防止用フェイスシールドの携行

心肺蘇生（CPR）を行う場合、重要となるのが一刻も早く心臓マッサージ、人工呼吸を行うことによる救命率の向上です。

人工呼吸を実施するにあたり、感染症リスクを考え躊躇することがないように携帯用フェイスシールドを携行し、心肺蘇生に素早く対応できるようにします。

⑤ 救急用具を常備

救急用具を事務室内に常備し、利用中の軽微なケガなどの処置をします。また、医務室に担架、会館、体育館に車いすを設置し、負傷者の移動に役立てます。車いすなどの救急用具は、だれでもいつでも使用できるように日常点検を行います。

また、職員の応急手当講習を実施し、いつでも対応できるよう訓練します。

⑥「あんしんトリピーメール」の啓発

倉吉体育文化会館では「あんしんトリピーメール」の案内を館内に表示し、登録者の増加を推進することで、お客さまが災害への対応に役立てられるよう啓発します。

(2) 緊急時の体制・対応

事故や災害が発生した場合、「お客さまの安全」を第一優先としつつ、つぎ対応レベルと行動基準に基づいて対応します。発生した事態が重篤で、お客さまの生命の危機に瀕するような場合には、より迅速に、最良な状態で救急隊員に引き渡すことに全力をつくします。

また、被災した場合は、鳥取県地域防災計画に沿って行動します。

受援計画策定ガイドラインの構成イメージを元に施設で受援担当者を定め、構成、施設、担当者の役割、業務内容（備品、設備の準備等）、留意事項を作成し、円滑に協力できるようにします。

① 火災・災害対応

火災・災害発生時には危機管理マニュアルとあわせ、下記の項目を徹底し、迅速・適切な対応を行います。

- | | |
|---|---|
| 1 | 火災・災害発生時は最寄りの施設が応援
(施設独自では十分な応急措置ができない場合には、体育協会事務局及び管理する施設に
応援要請し、応急措置などを迅速かつ円滑に行う) |
| 2 | 閉館後、開館までの間は警備会社が消防、警察に通報し、館長へ連絡 |
| 3 | 火災・災害発生時は県にすみやかに第1報報告、その後も必要に応じ随時報告 |
| 4 | 終息後、総点検を行い、県に詳細報告 |
| 5 | マスコミへの対応（窓口の一本化、適切な情報提供） |



ア 火災発生時の対応

火災発生時には、通報連絡・消火・避難誘導・非常放送を適切に行い、日ごろの訓練実施により万が一の場合でも対応できるようにします。

職員担当班	職員対応行動
通報連絡班	消防署・警察への通報
消火班	事務室火災報知機盤により現場確認し、消火器と電話を持って現場へ急行 火災現場を確認、初期消火
避難誘導・救護班	利用者へ災害・火災状況を伝えながら、混乱が生じないように冷静に避難誘導を実施 負傷者発生の場合、適切に応急救護（人工呼吸、除細動器など）
非常放送避難誘導班	非常放送によりお客さまの避難誘導。

※職員の配置状況により、各班を兼ねる場合がある。

イ 地震・津波発生時の対応

地震・津波発生時の対応として、日ごろから危険箇所や避難場所・誘導経路を把握し、地震が発生した場合にはお客さまの安全確保と避難を確実にを行います。

対応	職員対応行動
一次対応	「緊急地震速報」「津波警報・注意報」が出たことを迅速に伝える。
	お客さまを落ちつかせ、揺れがおさまるまで待つ。動けるようであれば、ドアを開放し、避難口の確保、使用中の火を止める。
二次対応	「津波警報・注意報」が出た場合には、なるべく高い場所（武道館2階または屋外の高所）への避難誘導をおこなう。
	建物の外観点検をした後、細部の点検をする。
	建物、施設内に異常がなくても電気、水道の供給が停止している場合は、供用を見合わせる。

ウ 台風・大雨洪水・大雪発生時の対応

天気予報などにより情報収集を行い、事前に養生や補強、イベント等の開催中止依頼などをします。災害発生後にはただちに復旧作業を行い、早期利用再開を目指します。

対 応	職員対応行動
一次対応	<p>天気予報などにより情報を入手し、植栽や工作物の養生、補強をおこなうほか、倒れる、飛ばされるなどの恐れのある物は、撤去または移動する。</p> <p>お客さまが被害にあう恐れがあるようなら、事業開催または施設供用の中止を求め、周知をする。</p>
二次対応	<p>適時施設内を見回り、被害の状態を十分に把握する。特にハザードマップに記載されたポイントは、重要点検箇所として注意を払う。</p> <p>故障、損傷、浸水、積雪等があれば直ちに復旧作業へと取りかかり、早期の供用開始を目指す。</p>

エ 施設設備の異常・故障時(停電・漏電・断水など)の対応

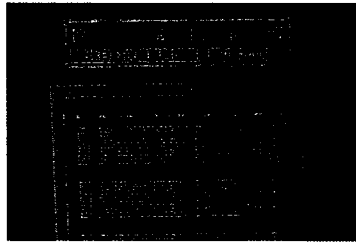
施設設備の異常や故障発生時には、お客さまの利用に支障が出ないように対応を行い、迅速な復旧に向けて処置をします。

対 応	職員対応行動
一次対応	<p>設備の異常信号および故障時には、職員で対応可能なものについては即時対応し、復旧などの処置を行う。</p> <p>職員で対応が不可能な場合は、業務委託している業者に復旧依頼をする。</p>
二次対応	<p>業務委託している技術者が緊急対応に向かい、施設内の不具合箇所を早期に掌握して一次対応とあわせ事務局に連絡する。</p>



② 事件・事故時の対応

事故が発生した場合は、その状態に応じて、迅速・適切な対応を行い、避難や救助活動ができるようにします。



- 近隣の医療機関の診療時間、休診日などの情報を把握し、館内に掲示する。
- 休日、夜間の指定救急医療機関を館内に掲示します。

ア 不審者・不審物(爆破物)への対応

不審者・不審物(爆破物)への対応として、巡回・巡視の徹底、目に触れにくい危険箇所の把握による予防、緊急時の連絡体制を構築し訓練を行うことで緊急時に対応できるようにします。また、透明回収ボックスによりボックス内の不審物の投入が発見できるように研究します。

対 応	職員対応行動
一次対応	お客さまがその場に近づかない、触れないよう注意喚起する。
	警察へ連絡し、お客さまを館外へすぐに避難させる。 必ず2名以上の職員で対応する。
二次対応	職員で処理が可能と判断されるものについては、お客さまを遠ざけたうえで処理を行う。
	施設利用の中止または部分規制を実施する。

イ 化学兵器・生物兵器によるテロリズムへの対応

万が一、倉吉体育文化会館でテロが発生した場合には、お客さまの安全を最優先し、迅速な避難と救助活動が行えるようにします。

対 応	職員対応行動
一次対応	お客さまの避難を最優先し、同時に施設を利用中止する。
	110番、119番通報による救出・救助活動を依頼する。
	県および体育協会事務局へ緊急連絡と情報提供する。
	関係機関などから情報収集し、指示にしたがって行動する。
二次対応	救助活動の支援、職員避難（二次被害の防止）も同時に実施する。
	一次対応とあわせ県・事務局へ報告する。 ヤジ馬などの対応をする。

ウ 大陸間弾道ミサイル発射への対応

大陸間弾道ミサイル発射への対応としては、「鳥取県弾道ミサイル災害への初動対応マニュアル」および当館の危機管理マニュアルに則り対応します。

対 応	職員対応行動
一次対応	Jアラートなどによる警報が発信されたら、利用者に窓やガラスから離れ、窓のない更衣室などに避難するように放送などで呼びかける。
	館外にいる利用者などには館内に避難するよう呼びかける。
	県や市の指示があれば、それにしたがって行動する。
二次対応	安全が確認されるまで館内で待機する。
	情報収集を行い動向を観察する。

③ 災害時の施設の使用

地震などの災害や武力攻撃事態などが起こった場合には、指定管理者として倉吉体育文化会館の使用について県の指示にしたがい、つぎのいずれかに該当する場合は、すみやかに閉館などの対応を行います。



●災害時の施設利用

(1) 次のいずれかに該当する場合には、指定管理者は、倉吉体育文化会館の使用について県の指示に従わなければならない。

ア 地震等の災害、武力攻撃事態等及び存立危機事態における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律（平成15年法律第79号）第1条に規定する武力攻撃事態等（以下「武力攻撃事態等」という。）、感染症のまん延その他これらに類する状況への対処として、倉吉体育文化会館を閉館し、又は、住民の避難、救援若しくは災害対応のために使用する必要があると県が認めるとき。

イ 倉吉体育文化会館について、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（平成16年法律第112号）第148条の規定により県が避難施設として指定をしようとするとき。

ウ 倉吉体育文化会館について、倉吉市から、倉吉市地域防災計画に基づく住民の避難、救援又は災害対応に要する施設としての指定に係る同意の申し出があったとき。

(2) (1) の県の指示に従う場合において、管理費の取扱いその他必要な事項については、県及び指定管理者が協議の上、決定する。

(3) 地震等の災害に関する警戒情報、武力攻撃事態等に関する警報等が発せられた場合等において、県民の安全の確保のために倉吉体育文化会館を閉館する必要があると県が認めるときは、速やかに当該施設を閉館すること。

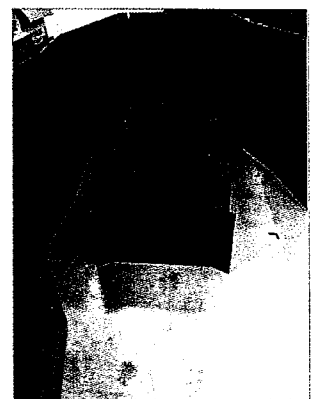
(4) 倉吉体育文化会館は倉吉市の指定避難所として指定されており、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがあるときに、一時的に避難して身の安全を確保するための緊急避難場所として使用される場合があること。
避難所等として利用したことにより生じた経費及び市の責により生じた損害にかかる費用は市の負担とし、負担額については、別途協議する。



大雨時の避難所開設（令和3年7月）収



大雨時の避難所開設
（令和3年7月）



大雨時の避難所開設
（令和3年7月）

④ 心肺蘇生法・応急手当の実施と対応

ア敷地内での事故などに対する応急手当

館内でのケガの多くは、捻挫・打撲・肉離れなどが多く、『RICE 処置』を実施するようにします。

Rest (安静)	スポーツ活動の停止
Ice (アイシング)	患部の冷却
Compression (圧迫)	患部の圧迫
Elevation (挙上)	患部の挙上

事故者の救護

事故発生 of 通報を受けた場合、すぐに現地へ急行し、被害者の救護、救急車の要請を行うなど、被害者の救護を最優先に対応し、状況に応じて警察への連絡を行います。

さらに、個人情報保護に留意しながら、状況に応じて消防署をつうじ、搬送先の病院名と被害者の名前を確認するなどの対応をとります。

ウ 迅速な対応と事故報告

被害者の救護を迅速に指示するとともに、館長への事故発生の一報および処理後の報告を行い、状況に応じて館長から対応方法の指示を受け、迅速・適切な対応をします。

エ 二重事故防止措置

事故発生現場においては、度重なる事故が発生しないように、施設の立ち入り禁止、入場制限などの対応を行い、再発防止措置を講じます。

オ 事故の再発防止

事故が発生した場合、迅速に事故状況を把握し、記録をとるとともに、事故原因を明確にします。また、必要に応じて施設の緊急総点検を実施するなど、再発防止に取り組めます。

⑤ J-アラートシステムを活用した緊急体制

「国から住民まで直接瞬時に」伝達することができる J-アラートの最大の特長をいかし、すみやかにお客さまの安全を確保し、最善の対応をとります。

また、国や県が行う情報伝達訓練などに積極的に参加し、緊急時に情報伝達が確実に行われるよう、毎日の日常点検を実施します。



- ◆鳥取県や事務局、警察などと連絡をとり、迅速に対応します。
- ◆お客さまや近隣住民の安全を第一とし、最善の処置をします。

⑥ PM2.5・黄砂などに関する注意喚起

毎日 PM2.5 の測定値を館内に掲示し、高濃度となった場合にはお客さまに注意喚起をします。また、大気中の微小粒子状物質濃度が、国が示した注意喚起のための暫定指針値を超過した場合などに、県民の健康被害を未然に防止するため、警戒情報などを発信し、注意喚起を行います。

ア 情報発信機関

県から発信される情報をもとに、当館ご利用のお客さまへの情報提供を行います。

イ 注意喚起の基準

毎朝、鳥取県環境立県推進課から発信される情報などをもとに PM2.5 の測定値を館内に掲示し情報提供を行います。

⑦ 差別落書きの対応

人権尊重の理念に立って、「鳥取県人権施策基本方針―第3次改訂―」（平成28年9月）により人権への理解を深め、鳥取県が定めた「差別落書き未然防止指針」、「差別落書き対応要領」及び本会の「差別落書き対応マニュアル」にそって対応します。

これらの対応により、差別落書きの未然防止と適切な対応により、人権が尊重される社会づくりをめざします。

●差別落書きへの対応例

鳥取県人権施策基本方針の理解

差別落書き禁止の啓発

差別落書き未然防止指針の理解

差別落書き対応マニュアルの整備

人権啓発研修参加による人権教育推進

差別落書き対応要領の理解

差別落書きを起こさせない施設管理

⑧ インフルエンザなどの感染防止対策

平成 26 年 1 月 7 日に政府が策定した「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」と、それをもとに作成された「鳥取県新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づく対応を行います。

感染症防止に対する対応				
情報を集める	県と情報共有	安全衛生委員会の設置	行動計画を作成	吐しゃ物の感染予防
お客さまを守る	職員を守る	県の方針を示す	人との接触を減らす	家族をサポート
仕事を家でおこなう	手洗いを習慣化	人が触れる所を消毒	マスクの着用	消毒用アルコールを常備
電話・通信機器の活用	温湿度計設置	感染防護具準備	素系消毒液を常備	

(3) 利用者の苦情等トラブルの未然防止と対処方法

苦情の多くは日ごろからの注意やお客さまとのコミュニケーションによって防ぐことができると考えられます。とくに、わたしたち管理者の怠慢など不誠実と指摘される苦情は、起こしてはならないことで、マニュアルの作成や研修の強化で防止します。

起こりうる苦情

- 管理者に対する苦情
接客態度、事務の処理、説明不足、施設の不衛生、設備の不具合など
- お客さま同士の苦情
自分本位の意見主張、迷惑行為、お客さま同士の確執、マナー違反
- 外部からの意図的な苦情
いやがらせ、クレマー
- 予測が難しい苦情

防止策

- 接客接遇能力の向上
- 事務の多重確認体制
- わかりやすい説明
- 機器、設備の安全性と機能性維持
- 協調利用のお願い
- 迷惑行為の規制と注意
- トラブルの仲裁
- マナー向上のお願い
- ルール遵守のお願い
- 巡回、セキュリティの強化
- お客さまへ防犯の協力依頼
- 不審者情報の収集と周知
- 地域、学校、警察などとの連携
- 情報の収集と周知
- 関連機関部署との連絡・連携

① 苦情、トラブルの未然防止策

安全・安心・快適な空間を保つために、トラブル・苦情に迅速に対応し、「クレームゼロ」を目指した組織的な対策を取ります。運営経験や知識の構築により、あらゆる場面に対応できる体制を整えます。

さらに、好事例を広く共有することで未然防止を目指し、同様の問題が起きていないか確認し、再発防止策を講じます。

また、職員には人権問題に対する研修を行い、公正で平等な対応を徹底します。

お客さまのためにできること				
いつも笑顔で対応	清潔な身だしなみ	明朗で活発な挨拶	コミュニケーション	意見をとり入れる
専門技術・知識の研鑽	設備・備品点検	安全安心な施設提供	苦情の共有	巡回の徹底
丁寧言葉遣い	お客さま目線	専門知識の研鑽	迅速な対応	危険個所の改善

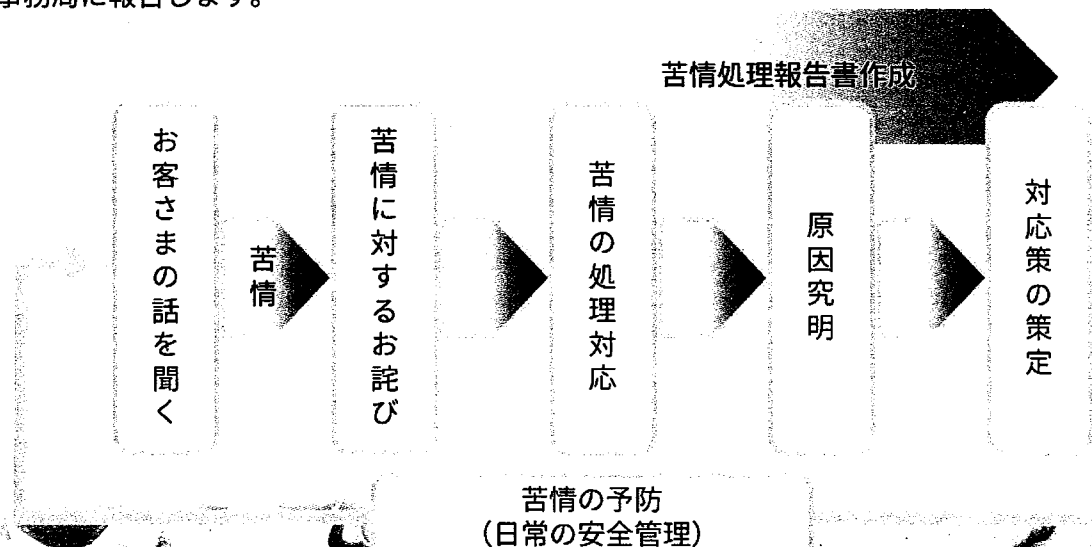
② 苦情、トラブルに対する対処法

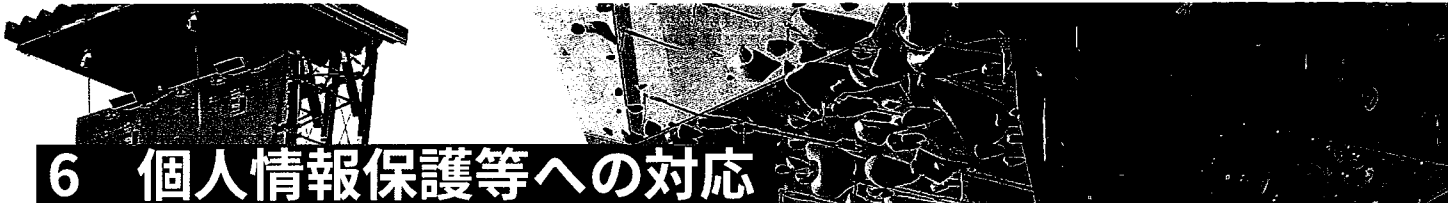
お客さまから、苦情やトラブルの報告があった場合は適切に対処し、同様の事例が起きないように再発防止策を立て、職員の接遇研修などを徹底します。

対処法			
同種苦情の未然防止	具体的な状況確認	言い訳をしない	原因究明
冷静に対応	処理の見通し説明	必要に応じ県と協議	他施設のトラブルを参考
迅速な処理	苦情をいただいた方へ連絡	内容・処理結果の掲示	苦情処理報告書作成

③ 苦情処理報告書の作成の流れ

苦情やトラブルがあった場合は、すみやかに苦情処理報告書を作成し、県および体育協会事務局に報告します。





6 個人情報保護等への対応

本県の個人情報保護方針に則り、①個人情報収集や利用及び提供②個人情報へのリスク予防並びに是正③個人情報に関する法令及びその他の規範の遵守④個人情報のルールの実施等とその継続的改善などの保護方針を定め、厳正な管理と適切な取扱いに取り組んでいきます。

(1) 個人情報の保護への対応

個人情報の保護への対応としては、当協会は、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）第 66 条第 2 項 2 号において準用する同条第 1 項の規定及び「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」を遵守し、個人情報が適切に保護されるよう配慮するとともに、「鳥取県個人情報保護条例」（令和 4 年鳥取県条例第 29 号）の規定を遵守します。

① 個人情報の保護への対応

倉吉体育文化会館において別段の定めをしている場合をのぞき、管理運営上取り扱うお客さま、取引業者などの特定の個人を識別できる情報（以下「個人情報」という）の収集、利用および管理について、「鳥取県個人情報保護条例」にもとづき適切に取り扱います。

また、「組織的対策」「人的な対策」「技術的な対策」「物理的な対策」によりお客さまの大切な個人情報を厳正に管理します。

個人情報保護方針	
組織的管理 安全管理運営に関する組織体制の整備 データの取り扱い規定等の整備と運用 データの取り扱い状況を確認する手段の整備 情報漏えい等に対する事故・違反への対処 取り扱い状況の把握と安全管理措置の評価・改善	技術的管理 アクセス者の識別と認証 アクセス制御と権限管理 外部からの不正アクセス等の防止 不正ソフトウェア対策 データ送信・移送時のセキュリティ対策
人的管理 雇用・契約時の守秘義務契約の締結 全職員への情報共有および周知 モラル向上施策（採用・教育・訓練など）	物理的管理 入退館および入室管理 機器・電子媒体等の盗難防止 機器・装置などによる保護 個人情報の削除、機器・電子媒体等の廃棄



② 個人情報保護方針

倉吉体育文化会館の管理運営において、個人情報保護に関する自主点検や常勤職員をはじめ、嘱託職員、非常勤職員を含む全職員を対象とした研修を実施します。また、マイナンバーについては、特定個人情報事務取扱担当者（作業責任者）を配置し、担当者のみ限定して取り扱います。

③ 個人情報保護の取り組み

当館では、個人情報保護に関する各種規定を遵守するほか、職員への研修や内部監査などによる情報の適正管理や情報漏えい防止策を徹底し、個人情報保護方針の館内掲示や各種案内、HP などへ記載することにより県民へ広く周知します。

④ 情報管理システムの体制

施設内の情報管理として、サーバーの一元化や通信の暗号化、セキュリティソフトの定期更新の義務化、パスワード設定など、あらゆる事態を想定した予見回避体制をとります。

PC の盗難に備え、PC データの外部出力制限・管理やパスワードの認証設定を行い、PC の起動ができないような管理に取組んでいきます。

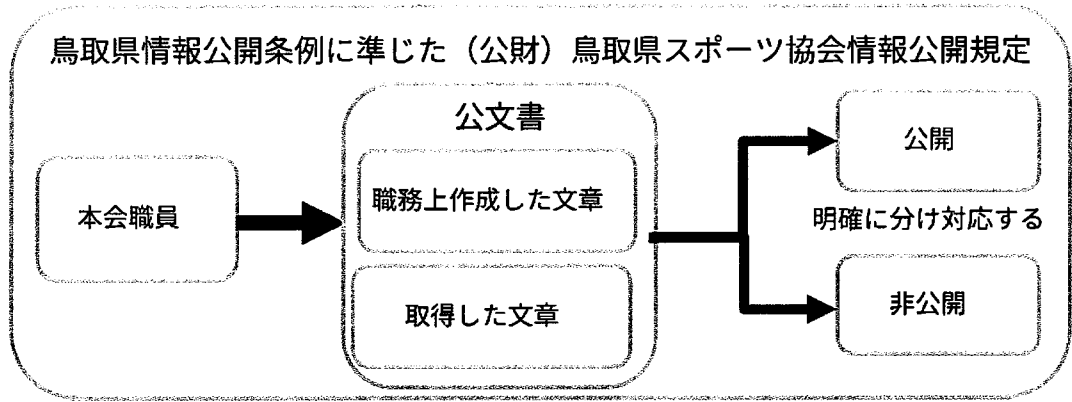
(2) 情報の公開への対応

本会の情報公開請求に関する対応は、鳥取県情報公開条例（平成 12 年鳥取県条例第 2 号。以下「情報公開条例」という。）の規定を遵守し、倉吉体育文化会館の管理に関して保有する情報の公開に関する事務を適切に行います。

また、情報公開条例に準じた情報公開規程を制定し（平成 12 年 9 月）、保有する情報の公開に関して必要な事項を定め、積極的に情報を公開します。

① 情報公開の取組方針

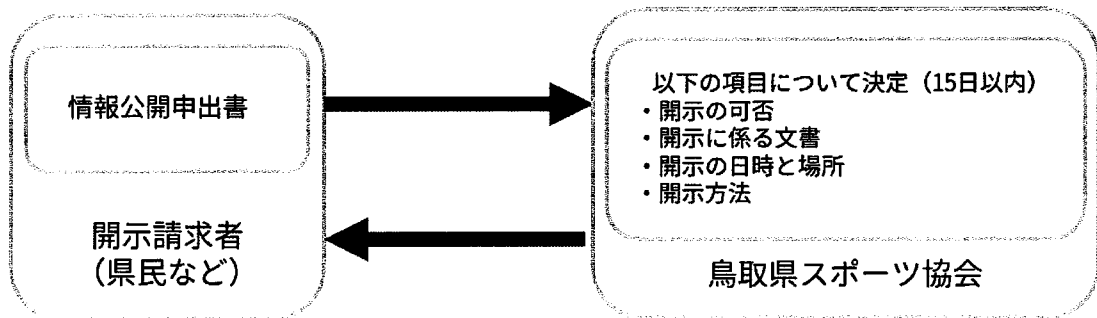
本会は、鳥取県立施設の指定管理者として、従事する者が職務上作成または取得した文書等については、公文書として公開するものと、公開にするものとの明確に区別するため、情報公開規定にもとづいた対応を行います。



② 情報公を行うための措置

情報公開条例および本会情報公開規程にしたがった対応を遵守し、県民の公文書の開示を請求する権利を最大限配慮します。

また、情報開示申出書の提出があった場合、「開示の可否」「開示にかかる文書」「開示の日時と場所」「開示方法」等を 15 日以内に決定し、さらに、個人情報等の情報公開に関する取り扱いについて、職員研修を実施します。



③ 管理運営の透明性

指定管理者として、県民の『知る権利』を尊重し、情報公開条例に則った適正な対応に取り組んでいきます。

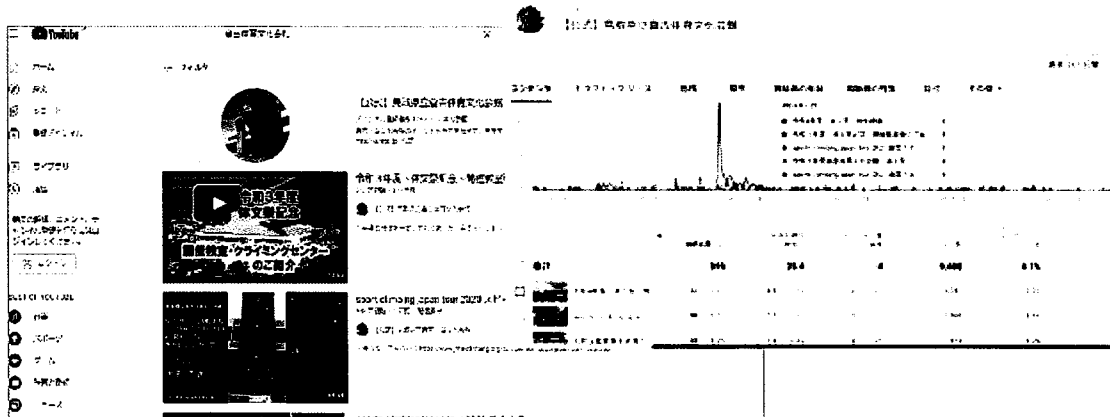
指定管理者の運営方針および年次事業計画、事業報告に関しては、情報の公開に関する条例の趣旨にのっとり、積極的な情報提供に努め、運営の透明性を高めます。

情報公開請求者から苦情の申し立てがあった場合、速やかに鳥取県と協議のうえ、公開の可否などの決定に対して速やかな対応に取り組んでいきます。

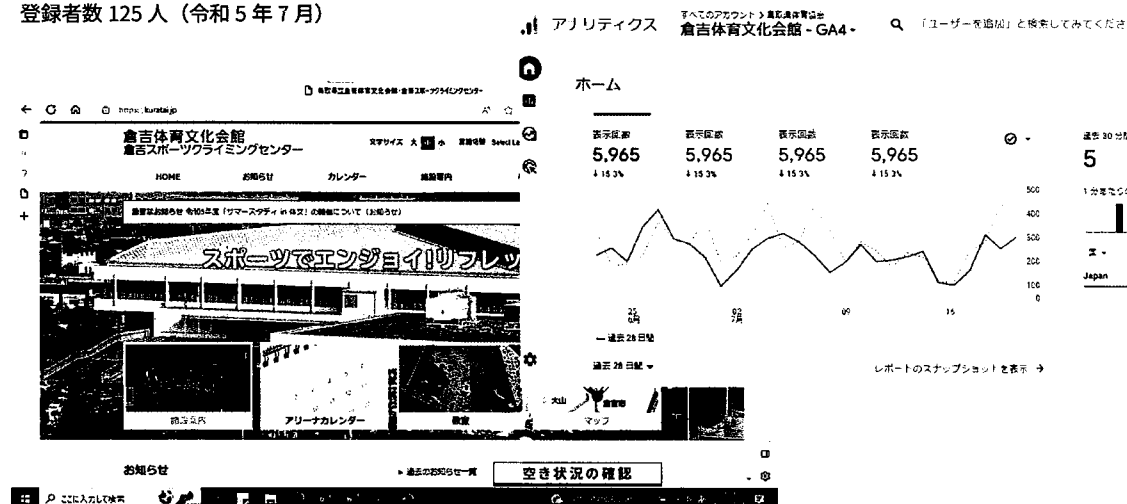
④ 効果的な広報活動

効果的な広報を行っていくために、わたしたちは常に県民の目線でわかりやすく、魅力的な広報活動を行っていきます。倉吉体育文化会館の所在地である倉吉市の人口 4 万 4,518 人に対し、周知回数 5.1 回の広報活動を実施(22 万 9 千回)。今後は、世帯あたりの周知回数 5.5 回を目指します。

広告媒体	内容
チラシ配布	<ul style="list-style-type: none"> ●中部地区の小・中学校にスポーツ教室やイベントの案内配布 (2,300枚/年1回) ●利用者への教室案内チラシの配布 (200枚/年3回)
生涯学習とっとり ma-naviへの掲載	●県内全域 4,800部/年6回
当協会広報誌 やろうで! SPORTSとっとりへの掲載	●県内全域 1,000部/年4回
公式Instagram	●フォロワー数 644人 年間のリーチ数6,348 (529回×12か月)
公式YouTubeチャンネル	●2020年運用開始 登録者数 125人 年間再生数595回
Google Mapsの管理	●年閲覧者数 25,764人 (1か月2,147人×12か月)
ホームページの管理	●年間閲覧者数 71,580人 (1か月5,965×12か月)
館内掲示物 (チラシ・ポスター)	●年間利用者数 89,589人 (令和4年度)



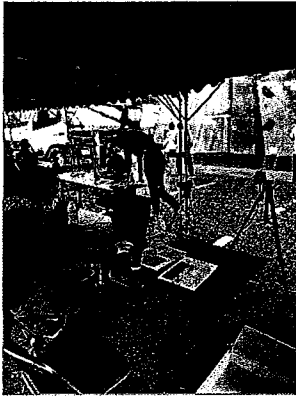
公式 YouTube チャンネルの運営
登録者数 125 人 (令和 5 年 7 月)



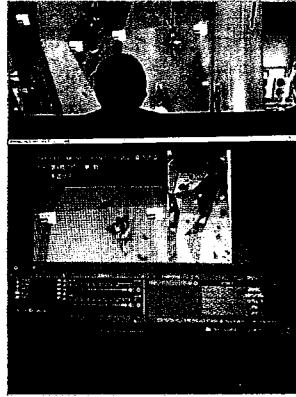
当館ホームページの運用
1 月の閲覧数 5,965 回



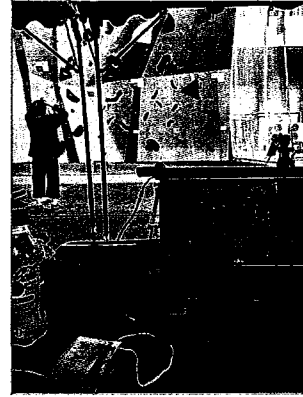
体文祭の Youtube 開催



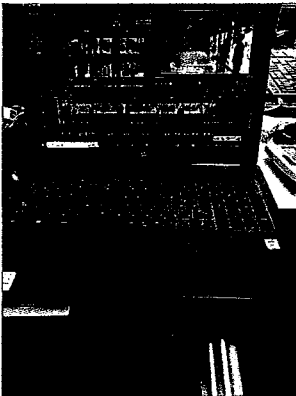
ジャパンツアーの YouTube 配信



ジャパンツアーの YouTube 配信



ジャパンツアー YouTube 配信



職員による動画編集



配信用動画の作成

⑤ 情報格差への対応

情報格差への対応として、当館から発信する情報は、子ども・高齢者・障がい者など全ての方が理解しやすいように、文字の大きさや言葉遣いに配慮します。色弱者や視力低下の方への配慮も行い、UD フォントを活用して、すべての人にやさしい情報提供を行います。

●情報格差への対応策

内容や文字の大きさ、言葉づかいの周知徹底

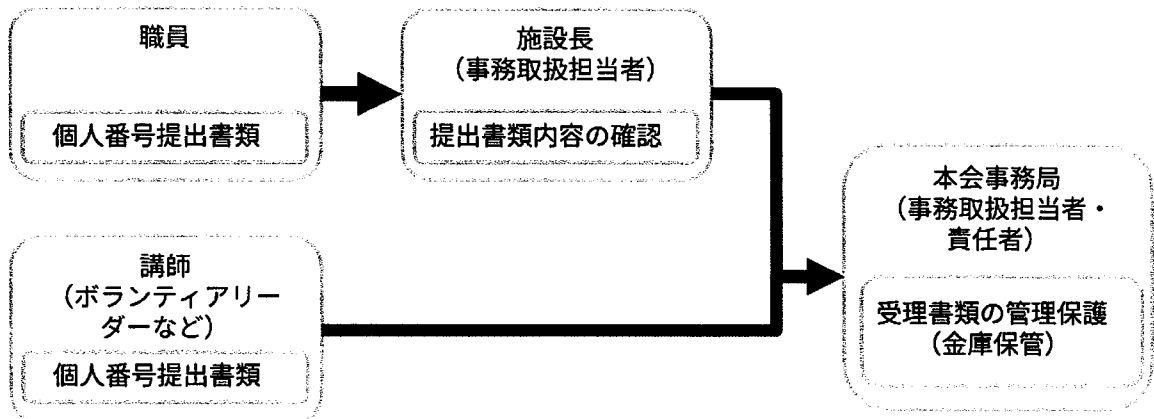
子どものための「ひらがな」、「ルビ」の活用

色弱者や高齢者などの視力低下の方への色のバリアフリー

ユニバーサルデザイン (UD)の視点にもとづいた「UDフォント」などの活用

(3) マイナンバーへの対応

マイナンバーへの対応は、本会の特定個人情報を適正に取り扱うため、各種の法令に基づいて、平成 27 年 10 月から、住民票を有するすべての人にマイナンバー（個人番号）が通知されています。当館では館長をマイナンバーの責任者とし、個人情報保護のため、情報の流失がないように厳重に管理をしていきます。





7 スポーツと文化の普及振興

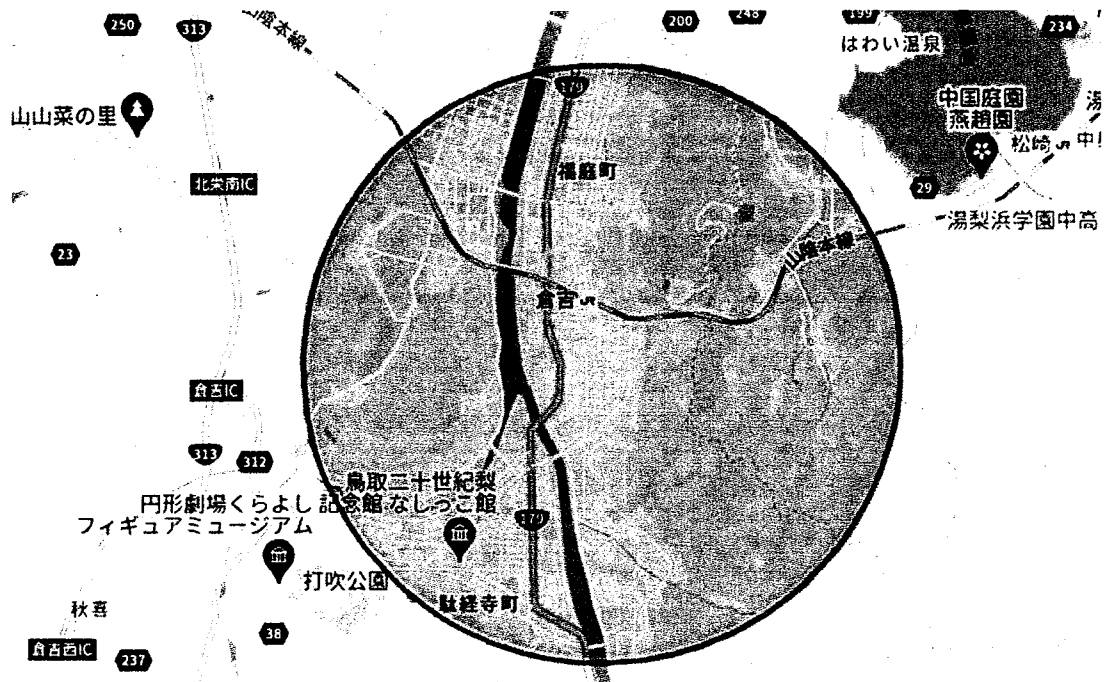
スポーツと文化の普及振興は、鳥取県将来ビジョンに掲げた「みんなで創ろう『活力あふんし鳥取県』や「すべての県民が豊かなスポーツ文化を享受できる鳥取県」を踏まえ、様々な年代の人々が年齢や性別、障がい等を問わずスポーツ・文化活動に参画できる環境づくりに取り組んでいきます。

(1) スポーツの普及振興の考え方

スポーツをすることで健康や生きがいを得ることができるだけでなく、スポーツを見たり聞いたりすることで感動や勇気、希望や夢を持つことができます。また、スポーツを支えること（ボランティア等）で地域の連帯感や達成感・充実感を共有することができます。県民が一体となって、いつでも、どこでも、誰とでも気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会を目指し、市町村やスポーツ団体と協力してスポーツの普及振興を推進するよう取り組みを行っていきます。

新たなスポーツ振興の取り組み

・地域特性の理解



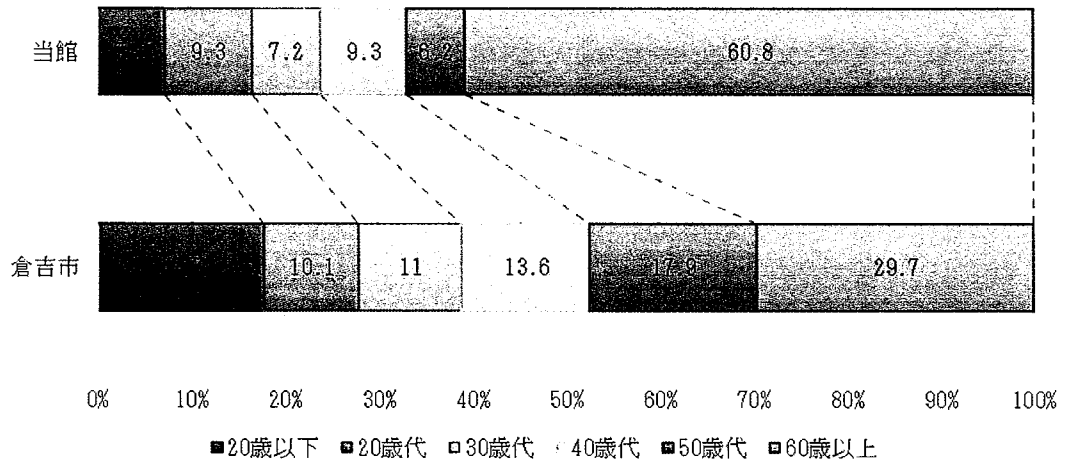
倉吉体育文化会館の徒歩圏内（3km）



倉吉体育文化会館が位置する鳥取県中部、倉吉市の人口は、高齢者が最も多く。男女比は、女性が男性を上回っていますが、20～30代は男性が多い傾向にあります。

倉吉市の年代別人口割合と倉吉体育文化会館の利用者の割合を比較すると以下の表のようになります。

倉吉市人口と当館の利用者数の割合について



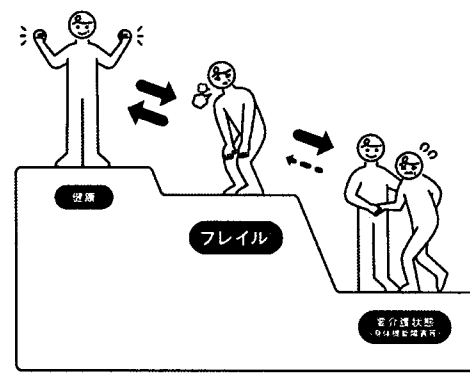
当館では、県のスポーツ推進計画を基本としながら地域特性も理解し、次のような取り組みを検討します。

・フレイル予防プログラムの提供

高齢者に共通する問題で、フレイルは虚弱状態、ロコモティブシンドロームは歩行障害、サルコペニアは筋肉量低下があり、一つの症状が他の症状を引き起こす可能性があります。

身体機能の低下によって、歩行や立ち上がり、家事や買い物などの日常生活に支障が生じ、社会的孤立や認知機能の低下などのリスクを増加させることがあるといわれています。

当館では、お客さまの適度な運動や社会的な交流を促すフレイル予防プログラムの提供を検討します。



フレイルは、要介護状態に至る前段階として認識されていますが、身体的脆弱性のみならず精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な要因を包含し、自立障害や死亡を含む健康被害を招きやすいハイリスク状態を意味します。
【フレイル診療ガイド2018年版】(日本老年医学会、国立高齢者研究所センター、2018)

・バーチャルプログラムの提供

コロナ禍において、多くのイベントやプログラムが中止や延期となり、社会的な活動が制限される中で、バーチャルプログラムが注目されています。バーチャルプログラムは、オンライン上で行われるプログラムで、自宅にいながらにしてリアルタイムで参加でき、

交流や情報共有ができるため、社会的な孤立感を解消することができます。さらに、地理的な距離を超えた参加や新たな出会い、文化やアイデアに触れる機会を提供することもできます。

当館では、コロナ禍において非対面で教室が行えるよう職員により作成した動画によるDVD 教室（フィットネス、ヨガ）等を行ってきたノウハウを活かし、仕事や子育てでなかなか時間の作れない世代へのスポーツ機会の提供として、バーチャルプログラムを研究します。



DVD フィットネス教室



職員による動画編集作業



配信用動画の作成

(2) スポーツの普及振興に係る事業

倉吉体育文化会館では、スポーツ教室、文化教室とも、低価格でだれでも安心して参加していただける料金に設定します。下記の料金設定に従い、倉吉体育文化会館では、鳥取県が推進するスポーツ振興の基本的な考え方に基づき、スポーツ教室を開催します。

教室種類	参加区分	内容	料金
スポーツ教室	学生・一般	1回203円	5回 : 1,015円 10回: 2,030円
	一般	1回710円	5回 : 3,550円 10回: 7,100円
ボルダリング教室	学生	1回500円	5回 : 2,500円 10回: 5,000円

次期指定管理期間に開催するスポーツ教室

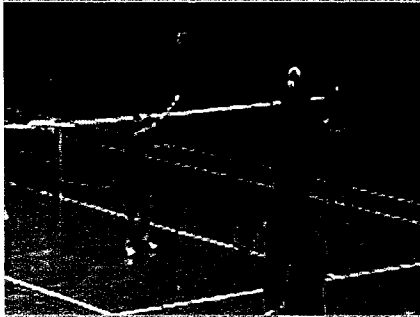
倉吉体育文化会館では、スポーツの専門知識を持った職員が指導し、各教室で参加者の目的に合わせた指導を行います。老若男女問わず参加しやすい教室を目指し、本会加盟団体等とも連携した教室を開催します。施設空き状況により曜日は変わる可能性があります。

●教室体系図

対象\教室	スポーツ教室 初心者	スポーツ教室 経験者・中級者	運動・健康づくり教室
幼児・ 小学生・ 中学生	スポーツへの興味・きっかけづくりと習慣化		運動へのきっかけづくりと習慣化
	基本技術習得・体力向上	応用技術習得・体力向上	体力・柔軟性の向上等
高校生	スポーツへの興味・きっかけづくりと習慣化		
	基本技術習得・体力向上	応用技術習得・体力向上	
一般（成人）	仲間づくり・体力向上・運動習慣の定着等		
	基本技術習得	応用技術習得	
高齢者	仲間づくり・体力向上・運動習慣の定着等		
	基本技術習得	応用技術習得	フレイル予防
親子	スキンシップ・武道への興味・きっかけづくりと習慣化		スキンシップ
	基本技術習得・体力向上	応用技術習得	運動習慣の定着

開催曜日	教室名	時間	開催期数	総開催数
火曜	テニス教室	10:00 ～ 11:30	4期	30回
火曜	初級ゴルフ教室	10:00 ～ 11:30	4期	30回
火曜	さわやか健康教室	10:00 ～ 11:30	3期	15回
水曜	初級ゴルフ教室	10:00 ～ 11:30	3期	20回
木曜	ストレッチ& ジャズ体操教室	10:00 ～ 11:30	4期	25回
金曜	ラージボール卓球&ソフ トバレー教室	10:00 ～ 11:30	4期	30回
金曜	初級ラージボール卓球	13:30 ～ 15:00	4期	30回
土曜	太極拳	10:00 ～ 11:30	4期	35回
水曜	ボルダリング教室 (一般・親子)	18:30 ～ 20:00	4期	30回
木曜	ボルダリング教室 (小・中・高校生)	18:30 ～ 20:00	4期	30回
木曜	からだづくり教室	18:40 ～ 19:40	4期	30回
金曜	楽しいバドミントン教室	18:30 ～ 20:00	4期	30回
金曜	ボディメイク フィットネス教室	19:00 ～ 20:00	3期	30回

テニス教室 (火曜)



定員を基準とした
年間利用者見込み

360名

スポーツの楽しさを通じた、
技術のサポートと健康的な
生活の促進を図ることが目的

さわやか健康教室 (水曜)



定員を基準とした
年間利用者見込み

1200名

初心者から経験者まで、安心
して楽しめるニュースポーツや
トレーニングを通じた健康維持・
増進が目的

初級ゴルフ教室 (火曜・水曜)

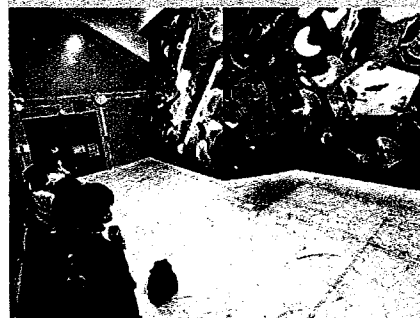


定員を基準とした
年間利用者見込み

800名

ゴルフ仲間との交流を大切に
するために、レッスン中の
丁寧な指導やコミュニケーション
を通じ切磋琢磨しあい
共に成長することが目的

ボルダリング教室 (火曜)



定員を基準とした
年間利用者見込み

750名

頭を使って壁を登る感覚は、
初めての方から上手な方まで
さまざまな難易度別に講師が
丁寧に指導することによって
初めてでも楽しめるボルダ
リング教室

ボルダリング (一般・親子対象)

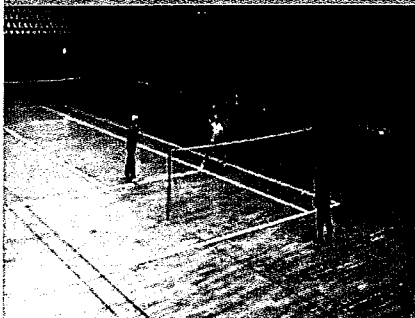


定員を基準とした
年間利用者見込み

750名

体力や経験不足でも、身体を使ったチェスのようなボルダリングは、初心者から上級者まで楽しめる教室

やさしいバドミントン教室 (木曜)

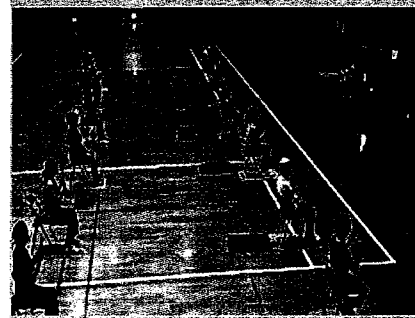


定員を基準とした
年間利用者見込み

300名

バドミントン仲間との交流を大切にしている教室では丁寧な指導によりレッスンの中でのコミュニケーションを通じ、初心者でも楽しめることが目的

ストレッチ&ジャズ体操教室 (木曜)

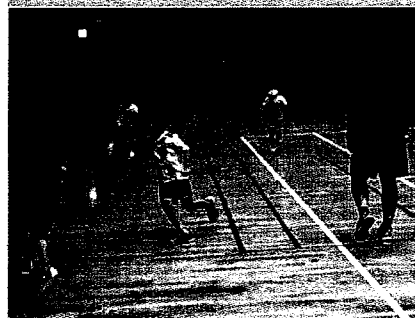


定員を基準とした
年間利用者見込み

500名

心身ともにリフレッシュし、健康的な生活を送るためストレッチとジャズ体操と音楽を組み合わせた楽しいプログラムを通じ、スキルを身につけることが目的

からたづくり教室 小学1、2年 (木曜)



定員を基準とした
年間利用者見込み

300名

子どもたちも身体の成長に必要な要素に合わせた運動不足の解消や、姿勢改善、筋力アップの体づくりプログラムを提供し生活習慣を身につけることが目的

からだづくり教室 小学3年生以上 (木曜)



定員を基準とした
年間利用者見込み

300名

子どもたちも身体の成長に必要な要素に合わせた運動不足の解消や、姿勢改善、筋力アップの体づくりプログラムを提供し生活習慣を身につけることが目的

ラージボール卓球&ソフトバレー教室 (木曜)

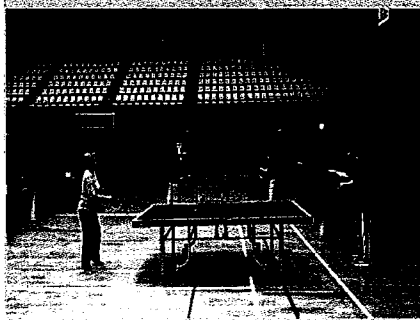


定員を基準とした
年間利用者見込み

1500名

体を動かすことで健康的な生活習慣を身につけるため、ラージボール卓球とソフトバレーの2つのスポーツを組み合わせたプログラムを提供し、初心者でも楽しくプレーすることが目的

初級ラージボール教室 (金曜)



定員を基準とした
年間利用者見込み

600名

健康的な身体作りのため、初心者の方に基本的な技術やルールを指導することで全身運動をおこなうことが目的

からだづくり教室 (木曜)

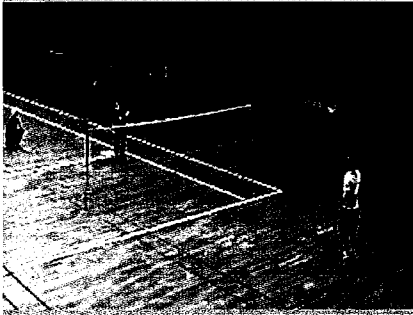


定員を基準とした
年間利用者見込み

600名

美しく健康的な身体を手に入れるためのプログラムを通じ、運動不足の解消や健康的な身体づくりや、美しく引き締まった身体づくりが目的。

楽しいバドミントン教室 小学生以上 (金曜)



定員を基準とした
年間利用者見込み

300名

参加者の交流や運動不足解消のため、コミュニケーションや丁寧な指導を通じ、初心者でも楽しめる教室

太極拳 (土曜)

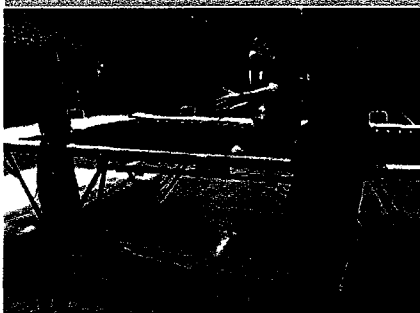


定員を基準とした
年間利用者見込み

350名

太極拳により心身の健康を維持するため、身体のエクササイズに焦点を当て正しい呼吸法、体のバランス、リラクセスの技術を学ぶ教室

トランポリン教室 (日曜)

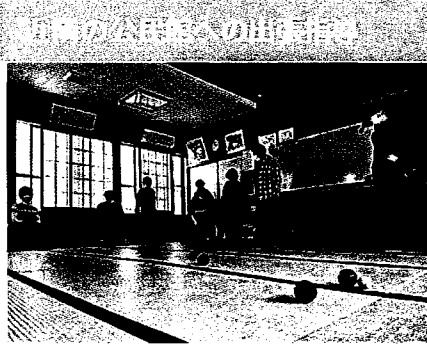


定員を基準とした
年間利用者見込み

20名

トランポリンを使ったエクササイズを通じ、心肺機能や筋力、バランス感覚を向上させるための幅広いレベルの方が参加可能な教室。

その他 出張教室



近隣の公民館からの要望に応え、特にフレイル予防を目的とした高齢者でも取り組みやすいスポーツプログラムを専門の指導員が丁寧に指導します。

令和4年度実績	
4月26日	八屋ひまわりサロン
5月17日	下余戸サロン
5月24日	八屋ひまわりサロン
8月23日	八屋ひまわりサロン
12月27日	八屋ひまわりサロン
2月14日	八屋ひまわりサロン
3月14日	八屋ひまわりサロン

当館主催スポーツイベント

当館主催のスポーツ大会や体育の日、県民の日にあわせてイベントを開催し、多くの県民の方楽しんでもらえるよう企画します。

主なイベント名	料金
エンジョイテニスカップ（テニス大会）	参加費 500円
新春ラージボール卓球大会（卓球大会）	
倉体カップバドミントン大会	
県民の日 みんなでスポーツを （県民の日無料開放）	施設使用料 設備使用料 無料
体育の日みんなでスポーツを （ニュースポーツ体験）	無料
ファミリースポーツの日 （家族みんなでスポーツを）	無料

(3) スポーツクライミングの普及振興の考え方

スポーツクライミングの普及のため、だれでも安全・安心に使用でき、またスポーツクライミングに親しみ、楽しめるような施設・設備の提供のため、環境の整備や人材の育成を行います。

また、JOC 競技別強化拠点の役割を担うため、日本代表選手の強化合宿をはじめとして、国内外選手の合宿・大会の誘致などに積極的に取り組みます。



Lead
リード
高度を競う



Bouldering
ボルダリング
完投数を競う



Speed
スピード
速さを競う



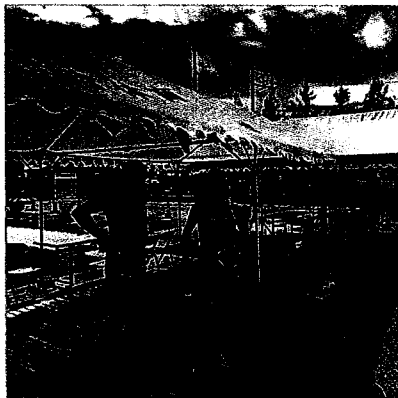
メディア取材への対応



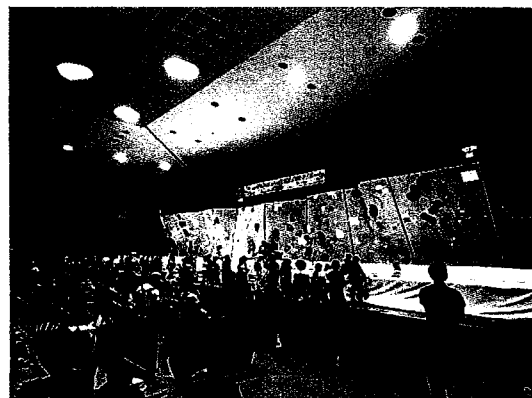
船上山少年自然の家とのコラボレーションイベントの開催



パラクライミング体験会に指導員を派遣



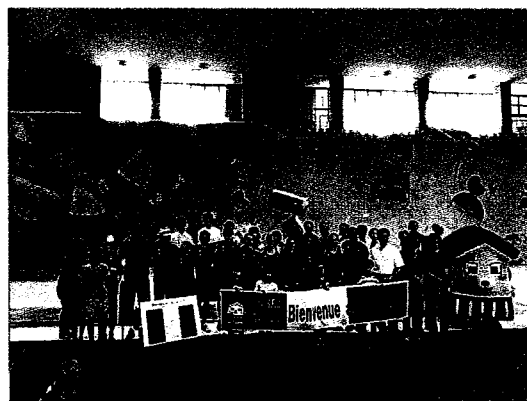
スポーツクライミングフランス代表事前合宿



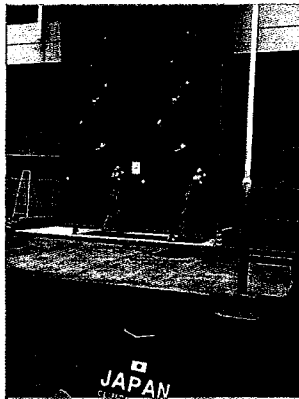
全日本ボルダリングユース大会の誘致



スポーツクライミングフランス代表事前合宿



スポーツクライミングフランス代表事前合宿



日本代表合宿の誘致



東京オリンピックパラリンピック
フランス代表合宿の誘致



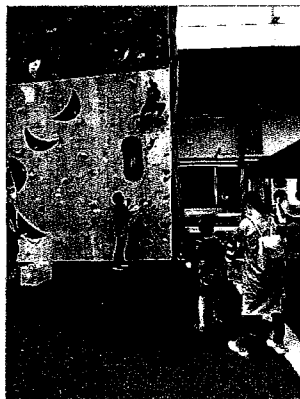
東京オリンピックパラリンピック
フランス代表合宿の誘致

(4) スポーツクライミングの普及振興に係る事業、利用者への指導方法等

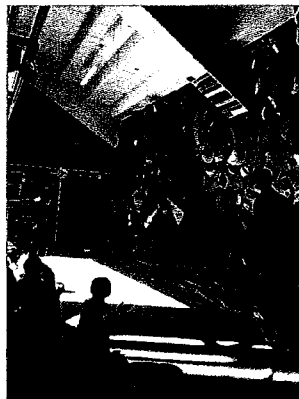
① スポーツクライミング体験会

スポーツクライミングの普及振興を目的として、鳥取県山岳・スポーツクライミング協会と連携したボルダリング競技・リード競技のスポーツクライミング体験会を実施します。

2020 東京オリンピック・パラリンピック正式種目として実施されたスポーツクライミング競技の機運を高めるとともに、クライミングの聖地としてスポーツクライミング人口のさらなる増加を目指します。



体験会への指導者派遣



体験会への指導者派遣



高田知亮選手によるリードクライミング講習会（リードセッション）

R4 年度体験会実績

日時	実施内容
7月4日	看護大学ボルダリング体験会
7月23日	倉吉市スポーツクライミング教室
8月7日	倉吉市スポーツクライミング教室
10月11日	倉吉東中学校ボルダリング体験会
10月15日	河北親子deスポーツクライミング体験会
10月25日	倉吉養護学校ボルダリング体験会
10月29日	河北親子deスポーツクライミング体験会
11月5日	西郷地区ボルダリング体験会
11月6日	河北親子deスポーツクライミング体験会
11月12日	倉吉市スポーツクライミング体験会
11月21日	青年中央会ボルダリング体験会
11月24日	鳥取短期大学ボルダリング体験会
12月6日	倉吉北高等学校ボルダリング体験会
12月9日	倉吉北高等学校ボルダリング体験会
12月18日	明倫地区ボルダリング体験会

② スポーツクライミング教室

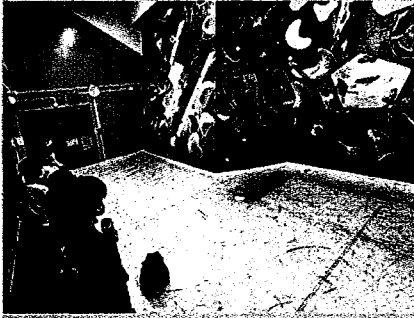
スポーツクライミング教室を実施することで、スポーツクライミングの普及振興と新規利用者の獲得を目指します。平成30年4月より運営している倉吉スポーツクライミングセンターの施設を活用した教室を開催します。

また、本会職員・鳥取県山岳協会と連携した公認資格を保有した指導員を配置し、適正な指導を行います。さらに、クライミング壁のルートセット（※）についても日本山岳・スポーツクライミング協会公認ルートセッター等を保有した本会職員が、安全・安心に利用できるよう実施します。

（※ルートセット：ホールドという様々な色の突起物を、利用者の状況に応じて配置すること）

教室内容について

ボルダリング (小・中学生対象)



定員を基準とした
年間利用者見込み

750名

初めてでも楽しめるボルダリング教室です！講師が丁寧に指導するので、体力や経験は必要ありません。さまざまな難易度が用意されているので、初めての方から上手な人まで楽しめます。頭を使って壁を登る感覚は、まるで脳トレのようです！みんなで一緒にチャレンジしてみよう！

ボルダリング (一般・親子対象)



定員を基準とした
年間利用者見込み

750名

初めての方でも大丈夫です。丁寧な指導があるので、体力や経験不足でも大丈夫。様々な難易度の課題が用意されているため、初心者から上級者まで楽しめます。身体を使ったチェスのような、頭を使うボルダリング教室です。

③ 主催スポーツクライミング大会の実施

倉吉スポーツクライミングセンターを活用し、生涯スポーツの普及振興と競技力向上を目指し、鳥取県山岳・スポーツクライミング協会と連携し、本会主催のスポーツクライミング大会を実施します。



体文カップボルダリング大会の開催



体文カップボルダリング大会の開催



体文カップボルダリング大会の開催



コロナ対策のため賞品抽選を
インスタライブで開催

④ 利用者への指導方法等

公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本山岳・スポーツクライミング協会公認資格保有者等を指導者として配置し、スポーツクライミング指導マニュアルにそって安全安心な指導を行います。



リード技術向上のためのセッションの実施



ハーネスの取扱講習

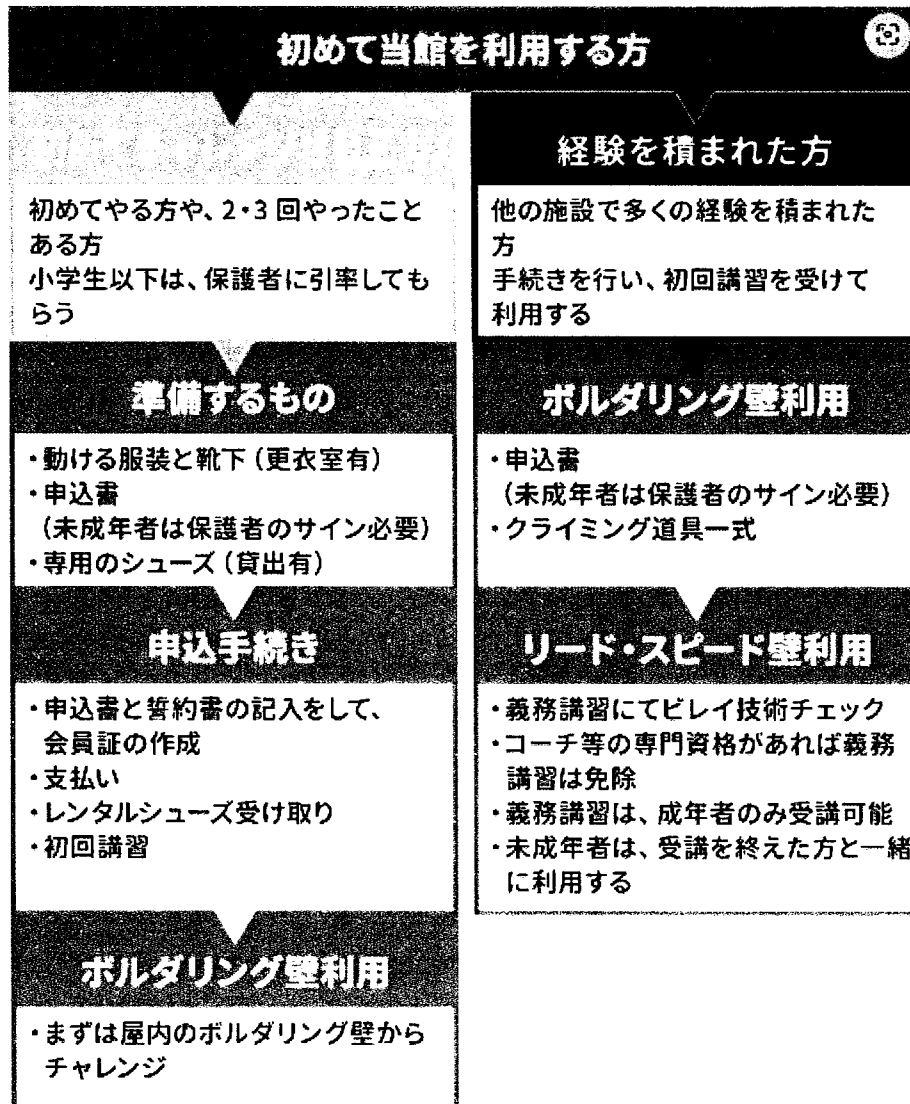


公式Instagramにて各ルートの登り方を動画で解説

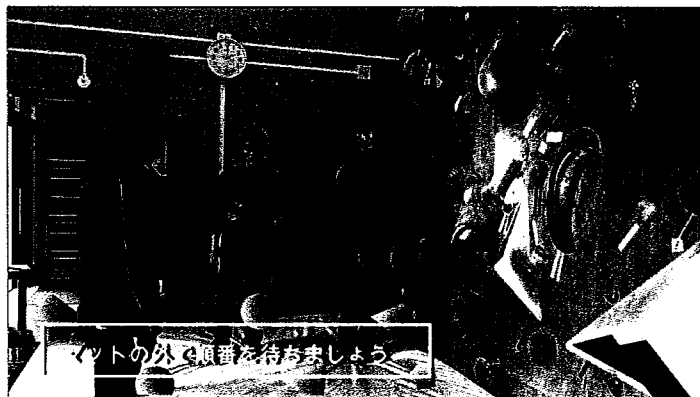


公式Instagramにて各課題の登り方を動画で解説（動画二次元コード）

ご利用の流れ




当館 HP 記載



講習 DVD の作成


⑤ その他の取組み

ボルダリングファイル課題表




年間利用者見込み	ファイル課題表とは、既存のテープ課題に加えて、ユーザーが自由に課題を作成でき、その課題を記録することができるファイルです。自己研鑽や他者への提供など、様々な用途に活用できます。
360名	

リードクライミングビレイ検定会




毎月開催目標	リードクライミングは全くの初めての方が行える競技ではありません。リード壁を安全に使用することができるか、当館の判定基準を基に合否判定を行います。合格者には修了書を発行し、当館リード壁の使用を許可します。
--------	---

リードクライミングビレイ講習会



毎月開催目標	リードクライミングの経験が少ない方を対象とした、検定会での修了証取得に向けた講習会です。リードクライミングに必要な知識、技術についての講習を行います。
	¥2000/講習代として

スピードクライミングビレイ検定会



毎月開催目標	スピードクライミングをする際に必要となる、オートビレイ機の取り扱いについての講習会を実施します。受講者には利用許可証を発行します。
--------	---

⑥ クライミング施設の維持管理

クライミング施設の維持管理においては、労働安全衛生法に基づく、フルハーネス型墜落制止用具特別講習や、高所作業車運転技能講習の修了者、中型免許保有者、日本スポーツ協会公認コーチ資格（スポーツクライミング）を持つ職員が施設の保守管理を行っています。



職員によるクライミング
ホールドの洗浄作業



高所作業車操作資格を持つ職員に
よるルートセット作業

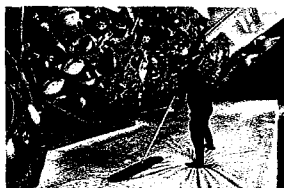


公認ルートセッター資格を持つ
職員による定期的なルートセッ
ト作業

● 日常実施する維持管理作業の流れ【屋内ボルダリングルーム】



保守点検（ホールドの破損・ボ
ルトの緩み）の確認



施設内の清掃



エアコンプレッサーによる
チョーク取り

● 定期実施するルートセット作業の流れ【屋外リード壁】



ホールド外し



ホールド洗浄



ルートセット作業



(5) 文化の普及振興の考え方及び事業

文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興、広く文化活動の場を提供し、自主的な活動を支援し、人と人との交流や地域の活性化を図ります。

文化教室・文化イベント

当館では、毎月文化教室を開催していきます。次期指定管理期間でも多様な教室を開催していきます。誰でも気軽に参加できるよう文化教室の参加料は 100 円（材料費別）となっております。

※英会話教室は 10 回 3,050 円 5 回 1,525 円

当館主催文化教室一覧表(令和 5 年度実績)

開催曜日	教室名	時間	募集人数	開催期
第1月曜日	フラワーアレンジメント	13:30~1時間程度(要予約)	10	毎月
第1木曜日	パステルアート	10:00~1時間程度(要予約)	10	隔月
第1木曜日	筆もじ教室	10:00~1時間程度(要予約)	10	隔月
第1金曜日	絵手紙	13:30~1時間程度	5	毎月
第3金曜日	フラワーアレンジメント	18:30~1時間程度(要予約)	10	毎月
第4月曜日	ガラスアート・シルエットアート	13:30~1時間程度(要予約)	10	毎月
第2木曜日	点描画体験教室	10:00~1時間程度(要予約)	5	毎月
第2木曜日	糸かけアート教室	13:30~1時間程度(要予約)	5	毎月
火曜日	ゆっくりパソコン	13:30~1時間程度	20	毎週 3期
水曜日	英会話	13:30~14:30	10	短期 2期
土曜日	能楽・謡曲	18:00~1時間程度	10	毎週

スポーツと文化の祭り体文祭	入場無料
体文祭ワークショップ	参加料100円 (材料費別)
サマースタディ in 体文	参加料1,000円 (保険料を含む)
正月花寄せ植え・フラワーアレンジメント教室	参加料100円 (材料費別)

教室の参加者の方には日々の生きがいがづくりや趣味の一環とし、日々の活力につながるよう、楽しい教室を展開していきます。

通常の文化教室では時間が合わず、参加しにくい方でも1日で作品や体験ができるイベントを開催します。

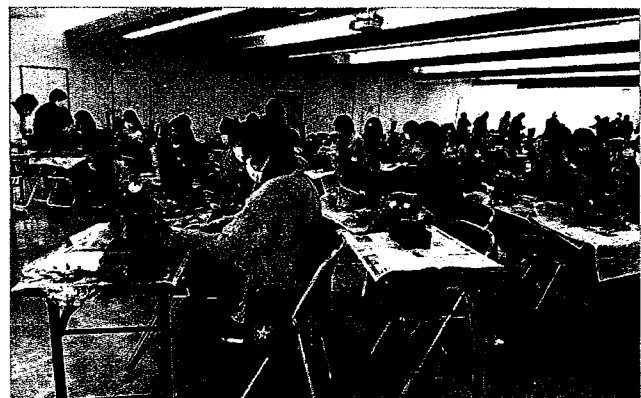
文化教室参加者以外の方にも、「体文祭ワークショップ」や「正月花寄せ植え・アレンジメント」、また夏休みの3日間に児童生徒(小学4年生～中学3年生)を対象とし、高校生ボランティアによる学習指導やクライミングを体験することができる「サマースタディ in 体文」を開催します。

近隣の地域の住民の方に日頃の感謝の気持ちを込めて、「体文祭」を開催します。

講師の先生や参加者の方に、文化教室で学んだ技術や作成した作品をたくさんの方に見ていただく場を作り、県内の芸術文化団体の活動の場、障がい者団体への職場の提供を行い、社会復帰に貢献します。



正月花寄せ植え・アレンジメントイベントの開催



正月花寄せ植え・アレンジメントイベントの開催



文化イベントの実施



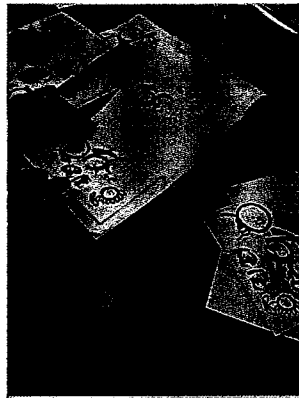
文化イベントの実施



文化イベントの実施



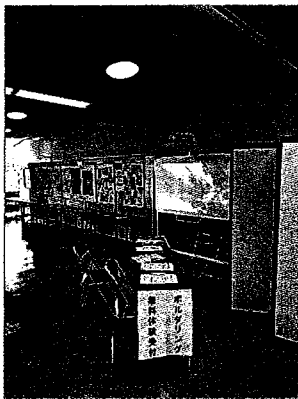
文化イベントの実施



筆もじ教室作品



筆もじ教室作品



スポーツと文化の祭り体文祭の
実施



スポーツと文化の祭り体文祭の
実施



正月花アレンジメントイベント
の開催



正月花寄せ植え・アレンジメントイベントの開催

文化活動への減免

県民の文化活動を推進するため、鳥取県の減免規定に沿った文化団体への減免を行います。



高文連主催将棋大会の減免（県民の文化活動の推進）



高文連主催将棋大会の減免（県民の文化活動の推進）